

平成24年度 母親情報交換委員会

全 体 会

平成25年3月12日(金) 9:45～
枚方市立教育文化センター 大会議室

1. 委員長挨拶

2. 平成24年度活動報告

全体および各部会の活動報告

3. 講演会 講師・竹下和男先生

子どもが作る「弁当の日」提唱者

元香川県の校長先生

テーマ・「お弁当の日がやってきた」

～お弁当の日を通して学ぶ食育～

4. 枚方市PTA協議会の活動について

5. 次年度母親情報交換委員会への引継ぎについて

7. その他

「子どもが作る『弁当の日』」

元 綾南町立滝宮小学校 校長
元 高松市立国分寺中学校 校長
前 綾川町立綾上中学校 校長 竹下和男

「弁当の日」の原則

- 1 子どもだけで作る
- 2 小学校5・6年生のみ
- 3 月1回、年5回

「弁当の日」に託した六つの夢

- 1 「一家団樂の食事」が当たり前になる夢
- 2 食べ物の「命」をイメージできるようになる夢
- 3 子どもたちの感性が磨かれる夢
- 4 人に喜ばれることを快く思うようになる夢
- 5 感謝の気持ちで物事を受けとめられるようになる夢
- 6 世界をたしかな目で見つめられるようになる夢

弁当を作る（平成14年度 滝宮小学校の卒業生に贈ったことば・卒業文集への寄稿）

あなたたちは、「弁当の日」を2年間経験した最初の卒業生です。

だから11回、「弁当の日」の弁当づくりを経験しました。

「親は決して手伝わないでください」で始めた「弁当の日」でしたが、どうでしたか。

食事を作ることの大変さが分かり、家族を有り難く思った人は優しい人です。

手順良くできた人は、給料を貰える仕事についてきたときにも、仕事の段取りのいい人です。

食材が揃わなかったり、調理を失敗したりしたときに献立の変更ができた人は、工夫できる人です。

友だちや家族の調理のようすを見て、技を一つでも盗めた人は、自ら学ぶ人です。

微かな味の違いに調味料や隠し味を見抜いた人は、自分の感性を磨ける人です。

旬の野菜や魚の、色彩・香り・触感・味わいを楽しめた人は、心豊かな人です。

一粒の米・一個の白菜・一本の大根の中にも「命」を感じた人は、思いやりのある人です。

スーパーの棚に並んだ食材の値段や賞味期限や原材料や産地を確認できた人は、賢い人です。

食材が弁当箱に納まるまでの道のりに、たくさんの働く人を思い描けた人は、想像力のある人です。

自分の弁当を「美味しい」と感じ「嬉しい」と思った人は、幸せな人生が送れる人です。

シャケの切り身に、生きていた姿を想像して「ごめん」が言えた人は、情け深い人です。

登下校の道すがら、稲や野菜が育っていくのを嬉しく感じた人は、慈しむ心のある人です。

「あるもので作る」「できたものを食べる」ことができた人は、たくましい人です。

「弁当の日」で仲間がふえた人、友だちを見直した人は、人と共に生きていける人です。

調理をしながら、トレイやパックのゴミの多さに驚いた人は、社会を良くしていける人です。

中国野菜の値段の安さを不思議に思った人は、世界を良くしていける人です。

自分が作った料理を喜んで食べる家族を見るのが好きな人は、人に好かれる人です。

家族が手伝ってくれそうになるのを断れた人は、独り立ちしていく力のある人です。

「いただきます」「ごちそうさま」が言えた人は、感謝の気持ちを忘れない人です。

家族が揃って食事をするのを楽しいと感じた人は、家族の愛に包まれた人です。

滝宮小学校の先生たちは、こんな人たちに成長してほしくて2年間取り組んできました。
おめでとう。これであなたたちは、「弁当の日」をりっぱに卒業できました。